

感染症とプラネタリーヘルス ～持続可能な社会をめざす報道～

日時 **10月16日(日)**
13時～16時30分(開場：12時30分)

会場 **西南学院大学
西南コミュニティーセンターホール**(定員89人)
福岡市早良区西新6丁目2番92号 ☎092-823-3952

オンライン参加
(先着100人)

新型コロナウイルスが引き起こしたパンデミックは、「世界の国々、人々の健康は1国だけでは守りきれないこと」を露呈した。ウイルスには国境がない。気候変動、生態系の変化にも国境がない。紛争、食糧、水、人口爆発と移動、経済と医療の格差も対岸の火事ではあり得ない。それらに取り組み、プラネタリーヘルス(地球の健康)を守ることが持続可能な社会の入り口だ。グローバルな課題に、各国、各地域、人々はどう取り組むか。メディアはどう報道するか。その現在地を探る。

《主催者挨拶》藤野 博史(日本医学ジャーナリスト協会理事・西日本支部長) 《司会》中村 弥和(日本医学ジャーナリスト協会西日本支部常任幹事)

第1部 基調講演 (13:05～13:50)

感染症とプラネタリーヘルス ～地球規模の挑戦～



東京大学大学院教授
橋爪 真弘
(医学系研究科 国際保健政策学)
英国ロンドン大学衛生熱帯医学大学院博士課程修了、長崎大学熱帯医学研究所教授を経て2019年現職。気候変動に関する政府間パネル(IPCC) 第6次評価報告書第2作業部会主執筆者、環境省中央環境審議会専門委員(気候変動影響評価等小委員会)を歴任。

インタビュービデオ出演 (14:10～14:30)

プラネタリーヘルスと 気候変動について



英国ビジネス・エネルギー・産業戦略省
首席科学顧問
ポール・モンクス
(レスター大学 大気化学・地球観測科学教授)
英国王立気象学会、化学協会フェロー。レスター大学で副学長、理工学部部長を歴任。エネルギー、気候変動、電気自動車、医療用放射性物質、宇宙、国家安全保障などで助言。Covid-19流行中、緊急時科学的助言グループに積極参加した。

第2部 パネルディスカッション (14:40～16:25)

地球の健康・病いを見つめる、考える、伝える報道

コーディネーター



長崎大学大学院教授
有吉 紅也
(熱帯医学研究所、熱帯医学・グローバルヘルス研究科)



科学ジャーナリスト
大岩 ゆり
(熊本大学国際先端医学研究機構リサーチアシスタント、元朝日新聞専門記者)



KBC九州朝日放送
解説委員長
臼井 賢一郎

東京大学大学院教授 **橋爪 真弘**

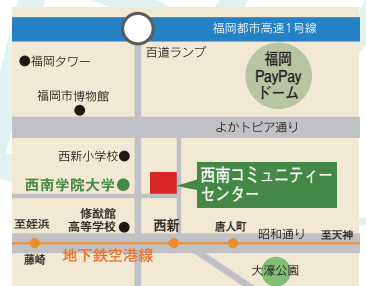


長崎新聞社
報道部記者
山口 栄治



医療ジャーナリスト、
歯科医師
杉山 正隆
(日本医学ジャーナリスト協会西日本支部幹事、毎日新聞OB)

パネリスト



会場参加者へ【感染症対策への注意事項】
●参加者は氏名・住所・電話番号を記入いただきます。●消毒液による手指消毒をお願いします。●マスクを着用すること、また大声で会話しないこと。●人と人の十分な間隔(2メートルほど)を確保してください。●発熱・体調不良がある方は入場をお断りします。

オンライン
ライブ配信

申し込まれる方は、**氏名、参加方法(会場、オンライン)、メルアド、携帯電話番号、職業、会員・一般の別など明記し、支部事務局(Mejawest@mejaw.jp)**までお申し込み下さい。右記QRコード(申し込みフォーム)からも申し込みめます。オンライン参加の方には、URLを開催前日までにメールで連絡します(Zoomウェビナーで配信)



参加無料
(会員、一般とも)

新型コロナ感染拡大の際は
オンライン配信のみで開催します。

お問い合わせ
お申し込みは

特定非営利活動法人
日本医学ジャーナリスト協会 西日本支部
〒814-0001 福岡市早良区百道浜1-2-6-303

E-mail ▶ Mejawest@mejaw.jp
Web ▶ http://mejaw.jp
電話 ▶ 090-2082-9824 (藤野支部長)

※このシンポジウムは福岡観光コンベンションのMICEハイブリッド開催支援・安全対策支援助成金を受けて行います。